

海津市地域福祉推進計画に対するパブリックコメントに寄せられた意見の概要と市及び市社会福祉協議会の考え方

令和5年1月18日から令和5年2月17日までの間、海津市地域福祉推進計画（案）について意見等の募集を行った結果、1人の方から1件の意見をいただきました。この意見の概要と、それに対する市及び市社会福祉協議会の考え方を次のとおり公表します。貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

	意見の内容	ご意見に対する市及び市社会福祉協議会の考え方
1	<p>福祉は幅広いサポートが必要で金もかかるが効果も分散してわかりづらい。</p> <p>地区社協の活動を見ていると、動ける人に対するサービスが多く、困っている人に対するサービスが少ない気がします。</p> <p>周りを見ると、高齢で一人暮らしの人で移動手段がなくなり困っている人が多くいます。その方たちに対する案を提案します。</p> <p>高齢の方たちのシェアハウスもしくは集落を作り、共同生活を推進する。場所については、スーパーがあり、医者が近くにあるところ。具体的には、今尾地区、松山地区などが想定される。</p> <p>近くを歩くと、空き家があるようですので、空き家を活用して該当高齢者を移住させたらどうか。</p> <p>高齢者で自分で移動できる人は、ある程度強制的に移ってもらえば、行政サービスが楽になる。</p> <p>高齢者が集まることでコミュニティができ孤独感が減少するなどの効果が想定される。</p>	<p>地区社会福祉協議会（略称：地区社協）の活動につきましては、地域によって様々で、代表的なものとして、近隣での見守り・声かけ活動、地区内情報紙の発行、サロン活動、移動支援が挙げられます。</p> <p>本計画では、地区社協が地域の実情にあった様々な助け合い・支え合い活動に取り組むことができるよう、市や市社協が活動支援を行うこととしています。</p> <p>また、一人暮らし高齢者の移動手段の確保や孤独・孤立対策につきましては、誰もが住み慣れた地域で健康で安心して暮らすうえで重要なものとして認識しております。</p> <p>そのため、本計画では、市と市社協が連携を図り、市民・地域・関係団体と協働して、高齢者の移動手段の確保をはじめ、生活支援や孤独・孤立の改善に向けた様々な施策を推進することとしています。</p> <p>具体的に挙げていただいた事業内容につきましては、担当部局と情報共有し、今後の施策を検討するうえで参考とさせていただきます。</p>